

鳥取県地震

2020年（令和2年）4月

鳥取地方気象台

目次

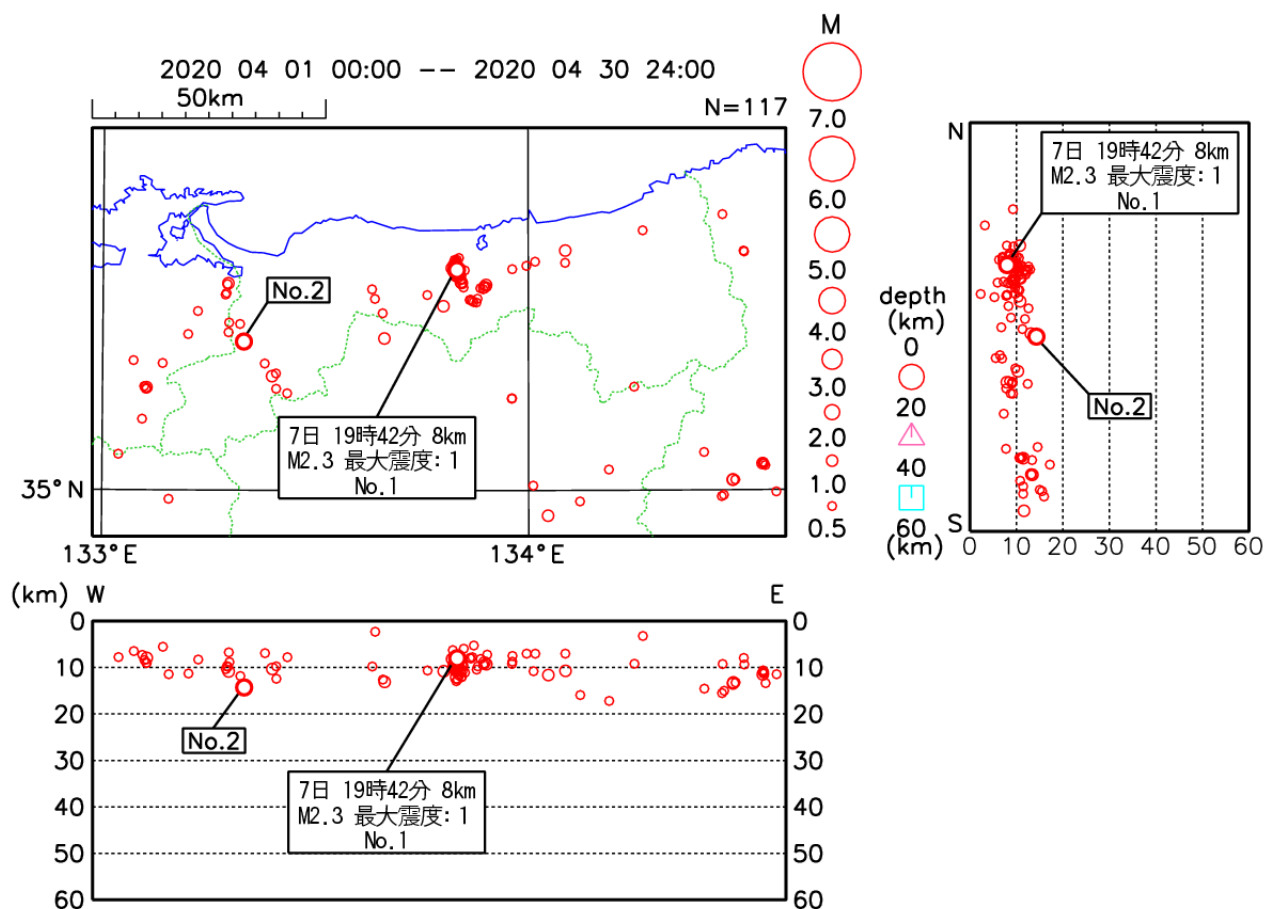
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
地震や津波について知る	4

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊ 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2020年4月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回（先月は3回）でした。

3日14時30分 広島県南東部の地震（深さ12km、M4.1）により、広島県尾道市・福山市で震度3を観測したほか、中国・四国地方で震度2～1を観測しました。鳥取県では湯梨浜町で震度1を観測しました。

7日19時42分 鳥取県中部の地震（深さ8km、M2.3）により、鳥取県倉吉市・北栄町で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は2回（前月は4回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2020年4月1日00時00分～2020年4月30日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2020年04月07日19時42分	鳥取県中部	35° 25.5' N	133° 49.9' E	8	2.3	1
2	2020年04月08日14時18分	鳥取県西部	35° 17.2' N	133° 19.8' E	14	2.3	—

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

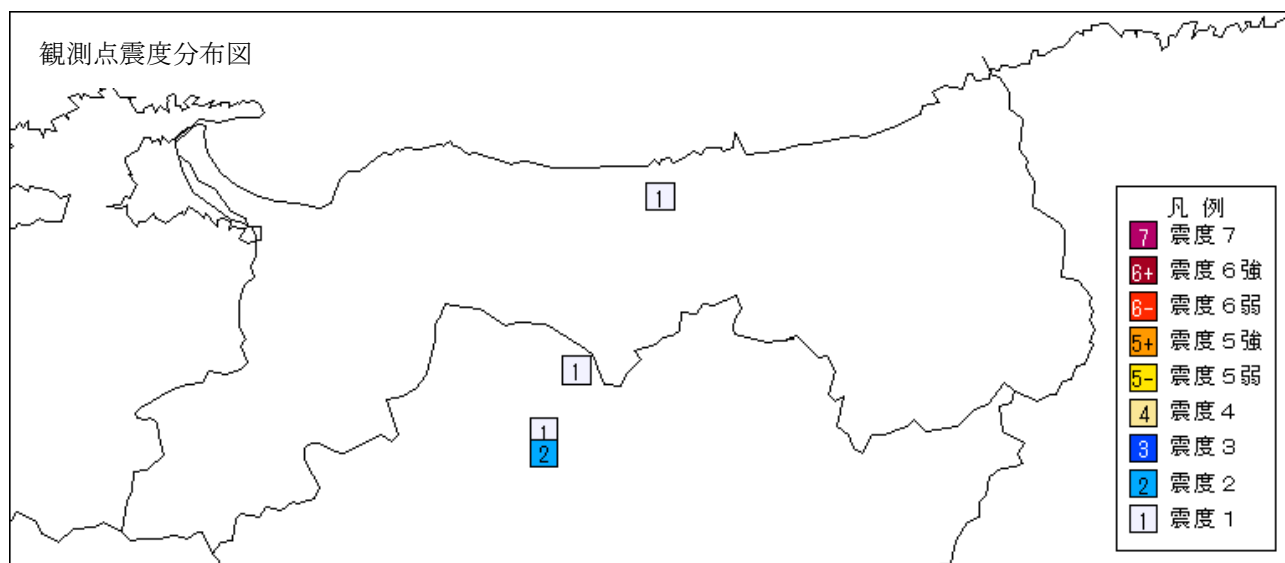
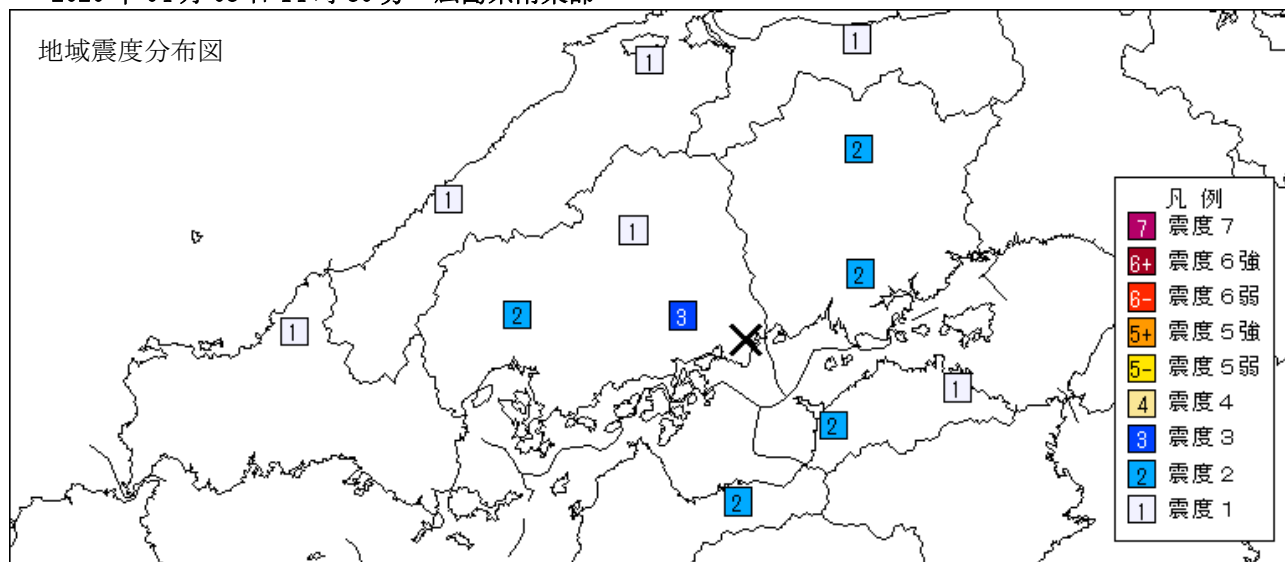
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2020 年 04 月 03 日 14 時 30 分	広島県南東部	34° 27.1' N	133° 22.1' E	12km	M4.1
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 湯梨浜町龍島*					
2020 年 04 月 07 日 19 時 42 分	鳥取県中部	35° 25.5' N	133° 49.9' E	8km	M2.3
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 倉吉市葵町*, 北栄町土下*					

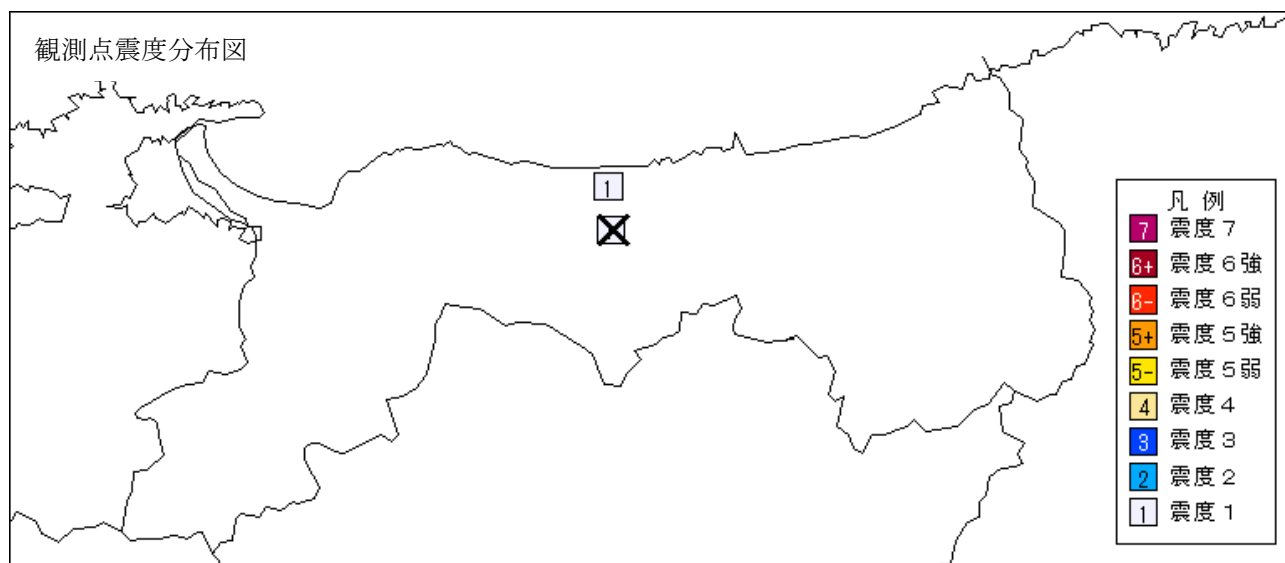
・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2020 年 04 月 03 日 14 時 30 分 広島県南東部



2020 年 04 月 07 日 19 時 42 分 鳥取県中部



(3) 地震・津波の知識

地震や津波について知る

気象災害に比べて地震や津波による災害の発生頻度は少なく、特に大きな被害を伴う強い揺れや高い津波を直接体験することは稀です。実際に自ら体験することと間接的に写真や動画を見たり人から聞いたりするのとでは受け取り方に大きな差異が生じることも考えられます。

たとえ経験したことのない想像を超えるような状況に遭遇した時でも、己が身を守りなるべく被害に遭わないようにするため、私たちの身の回りでどのようなことが起こる可能性があるのか、そういった事態にどう対処すればよいのか、あらかじめ考えて備えることがとても大切です。

そのための知識をえるために気象庁が用意した各種資料をご紹介します。

● パンフレット

気象庁ホームページでは、気象と並んで地震や津波・火山に関して多彩なパンフレットをダウンロードして活用できるよう公開しています。地震・津波に関しては、まずは一番最初に掲示してある「地震と津波」をご覧くださいと思います。地震・津波の基礎知識や気象庁の発表する警報や情報、観測監視体制などを総合的に解説しています。

URL: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>

● ビデオ

気象庁では地震や津波に関する防災広報ビデオを作成し学校や防災機関に配布したり、防災イベントなどで上映しています。その一部を政府インターネットテレビや気象庁 HP でも視聴可能にしています。

URL: http://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu_portal/index.html

ここで紹介した資料は鳥取地方気象台にも用意してあります。興味がおありでしたら以下へお問い合わせ願います。



そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和2年4月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

本誌掲載URL https://www.jma-net.go.jp/tottori/tottori_jishin.htm

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313